

20歳以上の女性1,482名に「鍋」実態・意識調査を実施

「鍋パーティ」をしたことがある」75.1%

今シーズンヒットを予感させる鍋メニューは
「イタリアン鍋」「豆乳しゃぶしゃぶ」「タイスキ」

「今シーズン食べたい」...「イタリアン鍋」39.8%、「豆乳しゃぶしゃぶ」36.3%、「タイスキ」32.5%

カゴメ株式会社(社長 喜岡浩二)は、20歳以上の女性を対象に、自宅や友人宅における「鍋」の食べられ方や「鍋」のイメージ、今シーズンの動向などを探るため、「鍋」実態・意識調査を実施し、1,482名(総サンプル:1,485名より「鍋は食べない」とした3名=0.2%=を除外したもの)より回答を得ました。

その結果、全体の75.1%が自宅・友人宅での「鍋パーティ」を経験しており、それよりも多い81.1%が「親しい友人とはレストランで食事をするよりも自宅・友人宅での『鍋パーティ』の方が盛り上がる」と回答しました。

また「今シーズン(2004年10月~2005年3月頃)食べたい鍋」のトップ3に「(スープに味が付いているタイプの)寄せ鍋」(72.8%)、「すき焼き」(71.9%)、「しゃぶしゃぶ」(65.7%)といった定番メニューが上げられる一方、一般には知名度が低い「イタリアン鍋」「豆乳しゃぶしゃぶ」「タイスキ」を「今シーズン食べたい」とした人がそれぞれ39.8%、36.3%、32.5%おり、ヒットを予感させるのに十分な結果が得られました。

年齢層別で見ると20歳代の43.2%が「イタリアン鍋」、41.8%が「豆乳しゃぶしゃぶ」を「今シーズン食べたい」としており、この2メニューについては若い層を中心に火がつく可能性を感じさせました。

鍋料理はメニューごとに独自の「食べたいシーン」や「イメージ」があり、「寄せ鍋」の「食べたいシーン」は「親族・友人の集まる時」(76.0%)や「鍋向きの食材が手に入った時」(74.7%)で、一方「イタリアン鍋(トマト鍋)」は「クリスマスイブ」(46.8%)や「恋人との記念日」(42.5%)でした。

「イメージ」の場合も、「寄せ鍋」は「だんらん」(85.0%)や「楽しい」(72.2%)が上げられる一方、「イタリアン鍋」は「おしゃれ」(84.1%)や「特別」(58.2%)と、まったく異なる結果が得られました。

「寄せ鍋」は「シーン」「イメージ」とともに一般的な「鍋料理」に近く、逆に「イタリアン鍋」は一般的な「鍋料理」とは異なる「スペシャル鍋」と位置付けることが可能な結果でした。

「今年のクリスマスイブの過ごし方」は、68.8%が「家でゆっくり食事」、未婚者の39.5%が「自宅または恋人の家で手作り料理」を望んでおり、さらに53.6%が「特別な日にはみんなで鍋を食べたい」とするなど、「記念日」「ハレの日」でも内食志向、鍋志向が強まっている様子が伺えました。

自宅・友人宅で鍋を食べる頻度は「昨シーズン(2003年10月頃~2004年3月頃)」の場合、43.4%が「週に1回以上(「週に2~3回以上」と「週に1回以上」の合計)」とし、48.0%が「5年前と比較して鍋料理を食べる頻度が増えた」と回答しました。20歳代(N=368)を見ると、53.5%が「増えた」と感じており、「増えた20歳代」の42.1%が「鍋のおいしさ・楽しさに目覚めた」を「増えた理由」にあげました。

＝目次＝

今シーズン食べたい鍋メニュー

今シーズンのヒットを予感させる「イタリアン鍋」「豆乳しゃぶしゃぶ」「タイスキ」	... 2
「うれしい鍋」は「高級食材の鍋」36.8%	... 2

メニュー別イメージ調査

にぎやかなシーンには「寄せ鍋」、親密なシチュエーションには「イタリアン鍋」	... 3
「寄せ鍋」は「だんらん」、「イタリアン鍋」は「おしゃれ」	... 4

現代女性の「鍋パーティ」事情

75.1%が「『鍋パーティ』経験者」	... 5
20歳代女性の86.1%が「『鍋パーティ』の方が盛り上がる」	... 5
グルメ志向の40歳代...「鍋向きの食材が入ったら鍋パーティ」40歳代の47.2%	... 6
コミュニケーション志向の20歳代...「人が集まりやすいから鍋パーティ」47.7%	... 6

今シーズンの「鍋パーティ」予想

「クリスマスイブ」に内食志向	... 7
「恋人との理想の食事はどちらかの家で手作り料理」	... 7
...未婚・20歳代女性の38.7%	... 7
「いい夫婦の日」にも内食志向	... 8
「特別な日にはみんなで鍋を食べたい」53.6%	... 8

鍋料理を食べる頻度・理由・人気メニュー

半数近くが「週に1回以上鍋料理を食べた」	... 9
鍋料理を食べる理由は、「栄養・美味・温・楽」	... 9
「鍋料理を食べる頻度が増えた」20歳代女性の53.5%	... 10
理由は「おいしさ・楽しさに目覚めた」	... 10
「自宅・友人宅でよく食べる鍋」は「寄せ鍋」	... 11

調査概要・調査対象プロフィール

ご参考 今シーズン注目の「イタリアン鍋」とは	... 11
ご参考 「イタリアン鍋」レシピ例	... 13

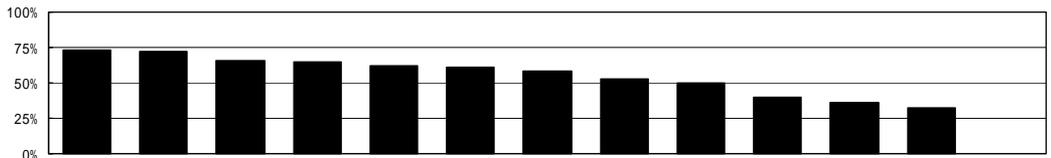
- ・当調査は『海鮮イタリアン鍋(鍋用スープ)』の全国発売を機に実施しました。
- ・各設問では原則として「自宅・友人宅で食する鍋料理」について尋ねています。
- ・設問設計の際、「寄せ鍋」を 味噌味、醤油味などスープに味が付いているタイプの寄せ鍋 と 水、昆布ダシなどで煮てタレなどで味付けをするタイプの寄せ鍋 の2つに分類しました。
- ・統計処理上、単数選択のデータの合計が100%にならない場合があります。

今シーズン食べたい鍋メニュー

今シーズンのヒットを予感させる「イタリアン鍋」「豆乳しゃぶしゃぶ」「タイスキ」

- 「自宅・友人宅で今シーズン(2004年10月頃～2005年3月頃の期間)食べてみたい鍋」を尋ねたところ(複数選択)、最も多かったのは「寄せ鍋(スープに味付き)」(72.8%)で、以下「すき焼き」(71.9%)、「しゃぶしゃぶ」(65.7%)と続いた。
- 一般には知名度が低く、「自宅・友人宅でよく食べる鍋料理」(11ページ参照)では3%以下の実績しかなかった「イタリアン鍋」「豆乳しゃぶしゃぶ」「タイスキ」を「今シーズン食べたい」とした人はそれぞれ39.8%、36.3%、32.5%で、ヒットを予感させるのに十分な結果が得られた。
- 年齢層別で見ると20歳代の43.2%が「イタリアン鍋」、41.8%が「豆乳しゃぶしゃぶ」を「今シーズン食べたい」としており、この2メニューについては若年層を中心に火がつく可能性を感じさせる。
- 20歳代では他に「キムチ鍋」「豆乳鍋」が他の年齢層よりも多く「今シーズン食べてみたい」とする傾向があった。同様に30歳代は「寄せ鍋(スープに味付き)」「おでん」「寄せ鍋(タレで味付け)」「ちゃんこ鍋」「水炊き」「タイスキ」で、40歳代は「すき焼き」「しゃぶしゃぶ」だった。
- また「流行の鍋はいち早く試したい」人(全体の31.0%)は、「豆乳鍋」「イタリアン鍋」「豆乳しゃぶしゃぶ」「タイスキ」を「食べたい」意向が、そうでない人(同67.2%)よりも10～20ポイント高い傾向があった。

今シーズン食べたい鍋(複数選択)



		寄せ鍋(スープに味付き)	すき焼き	しゃぶしゃぶ	キムチ鍋	おでん	寄せ鍋(タレで味付け)	ちゃんこ鍋	水炊き	豆乳鍋	イタリアン鍋(トマト鍋)	豆乳しゃぶしゃぶ	タイスキ	今シーズン鍋は食べない	
全体	1,482	72.8%	71.9%	65.7%	64.7%	61.7%	61.5%	58.2%	53.2%	50.1%	39.8%	36.3%	32.5%	0.2%	
年代	20歳代	368	71.2%	71.7%	65.5%	72.6%	60.1%	57.1%	57.6%	53.3%	56.5%	43.2%	41.8%	32.9%	0.5%
	30歳代	800	75.6%	73.0%	66.4%	64.5%	63.9%	64.9%	59.8%	57.3%	49.0%	40.1%	35.9%	34.3%	0.1%
	40歳代	221	70.1%	74.2%	69.2%	61.5%	59.7%	58.8%	59.3%	43.9%	47.5%	38.0%	32.6%	29.4%	0.0%
	50歳以上	93	61.3%	58.1%	51.6%	43.0%	54.8%	57.0%	45.2%	40.9%	39.8%	28.0%	26.9%	23.7%	0.0%
「流行の鍋はいち早く試したい」	はい	459	71.5%	70.4%	67.5%	70.2%	61.0%	62.5%	60.1%	52.9%	64.3%	48.6%	49.2%	41.4%	0.4%
	いいえ	996	74.2%	73.4%	65.9%	63.2%	63.1%	62.0%	58.4%	54.4%	44.2%	36.2%	30.6%	28.6%	0.1%
	未回答	27	44.4%	44.4%	25.9%	29.6%	25.9%	25.9%	18.5%	14.8%	25.9%	22.2%	25.9%	25.9%	0.0%

「うれしい鍋」は「高級食材の鍋」36.8%

- 13の鍋のイメージ例をあげて「うれしい鍋」「食べてみたい鍋」を尋ねたところ(ひとつ選択)、最も多かったのが「高級食材の鍋」(36.8%)で、以下「健康にいい鍋」(10.4%)、「アジア風の鍋」(10.1%)、「美容にいい鍋」(9.9%)と続いた。
- 年齢層別に見た場合、20歳代でも「高級食材の鍋」が31.0%で1位だが、他の年齢層よりも低い傾向があった。そのかわりに「美容にいい鍋」(15.2%)が他の年齢層よりも高く、第2位だった。

うれしい鍋・食べてみたい鍋のイメージ(ひとつ選択、N=1482)

		高級食材の鍋	健康にいい鍋	アジア風の鍋	美容にいい鍋	楽しい鍋	カロリーが低い鍋	鍋道具や食材が特別あつる鍋	流行っている鍋	和風の鍋	洋風の鍋	見た目がきれいな鍋	リーズナブルな鍋	満腹感のある鍋	その他	未回答
全体	100.0%	36.8%	10.4%	10.1%	9.9%	6.0%	4.6%	4.5%	4.3%	3.4%	3.2%	1.3%	1.3%	1.1%	1.4%	1.8%
20歳代	368	31.0%	9.5%	11.1%	15.2%	6.0%	4.6%	4.3%	5.2%	3.0%	4.3%	1.9%	1.4%	0.5%	0.5%	1.4%
30歳代	800	38.8%	10.4%	9.8%	9.3%	6.3%	4.5%	4.9%	3.9%	3.1%	2.6%	0.9%	0.9%	1.5%	1.6%	1.8%
40歳代	221	38.0%	10.4%	10.0%	6.8%	6.8%	4.5%	4.5%	5.0%	3.6%	2.3%	1.8%	2.3%	0.5%	1.4%	2.3%
50歳以上	93	40.9%	14.0%	9.7%	1.1%	2.2%	5.4%	1.1%	2.2%	6.5%	5.4%	2.2%	2.2%	1.1%	3.2%	3.2%

メニュー別イメージ調査

にぎやかなシーンには「寄せ鍋」、親密なシチュエーションには「イタリアン鍋」

- 「鍋パーティ」経験者(N=1113、5ページ参照)を対象に、「寄せ鍋」「イタリアン鍋(トマト鍋)」「ちゃんこ鍋」「豆乳鍋」「キムチ鍋」の5メニューをあげて、それぞれの「鍋料理を実施したいシーン」を尋ねたところ、「寄せ鍋」「ちゃんこ鍋」「キムチ鍋」は「親族・友人が集まる時」「寒い日」「忘年会・新年会」などを上げた人が多く、メニューを特定せずに「鍋パーティ」をする時」を尋ねたときの回答(6ページ参照)に近い結果が得られた。
- 一方、「自宅・友人宅でよく食べる」とした人が2.0%にすぎなかった「イタリアン鍋」(11ページ参照)は、「クリスマス」「恋人との記念日」「結婚記念日」などのアニバーサリーイベントのシーンで「食べたい」とした人が多く、上記3メニューとはまったく異なる傾向があった。
- 鍋メニューの中に、大勢でにぎやかに楽しむ「寄せ鍋」「ちゃんこ鍋」「キムチ鍋」と、より親密な人と少数で楽しむ「イタリアン鍋」といった、「イメージのすみ分け」があるという興味深い結果となった。
- なお「豆乳鍋」は30%を超えた「食べたいシーン」がなく、他の4メニューと異なり「明確な食シーンのイメージがない鍋メニュー」だった。

メニュー別鍋料理を実施したい・食べたいシーン(N=1113)

	「鍋パーティ」 をする時()	メニュー別食べたいシーン				
		寄せ鍋	ちゃんこ鍋	キムチ鍋	イタリアン鍋	豆乳鍋
親族・友人が集まる時	69.7%	76.0%	45.6%	28.1%	11.4%	14.1%
寒い日	60.5%	64.5%	45.8%	72.1%	10.9%	24.7%
忘年会・新年会	42.4%	65.7%	50.3%	29.6%	8.7%	13.2%
鍋向きの食材が手に入った時	40.5%	74.7%	37.8%	16.0%	11.0%	12.6%
お正月	20.3%	59.5%	32.4%	13.6%	3.6%	11.7%
歓迎会・送別会	16.3%	55.1%	43.2%	24.5%	8.2%	8.1%
慰労会	13.2%	47.9%	39.3%	19.8%	4.4%	10.2%
友人等を励ます時	8.7%	38.8%	32.0%	35.8%	11.7%	9.6%
自分が人に会いたくなった時	8.7%	45.4%	24.3%	21.0%	10.3%	11.8%
誕生日の御祝い	8.1%	30.7%	18.1%	10.2%	21.0%	8.2%
なんらかの記念日	8.0%	33.0%	16.7%	8.7%	26.5%	10.4%
クリスマス	5.1%	14.9%	8.1%	8.4%	46.8%	7.5%
(誕生日以外の)御祝い	4.3%	38.1%	22.1%	10.2%	12.9%	7.0%
多くのお金が入った時	1.5%	30.0%	24.6%	6.6%	20.8%	9.7%
結婚記念日	1.1%	18.4%	8.4%	4.8%	36.9%	7.5%
恋人との記念日	0.6%	13.5%	6.1%	5.3%	42.5%	6.4%
いい夫婦の日(11月22日)	0.1%	28.5%	14.3%	11.7%	19.2%	16.1%
その他	6.1%	2.6%	1.3%	2.7%	1.1%	2.2%

6ページ参照

食べたいシーン上位3項目

	寄せ鍋	ちゃんこ鍋	キムチ鍋	イタリアン鍋	豆乳鍋
1	親族・友人が集まる時	忘年会・新年会	寒い日	クリスマス	寒い日
2	鍋向きの食材が手に入った時	寒い日	友人等を励ます時	恋人との記念日	いい夫婦の日(11月22日)
3	忘年会・新年会	親族・友人が集まる時	忘年会・新年会	結婚記念日	親族・友人が集まる時

■ = 40%以上が選択した項目

「寄せ鍋」は「だんらん」、「イタリアン鍋」は「おしゃれ」

- 「寄せ鍋」「イタリアン鍋(トマト鍋)」「ちゃんこ鍋」「豆乳鍋」「キムチ鍋」の5メニューについて「イメージ」を尋ねたところ(それぞれ複数選択)、「だんらん」「楽しい」「にぎやか」が上位にランクインする一方、「冷蔵庫処理」「安上がり」「手抜き料理」といった生活感があるイメージも根強い「寄せ鍋」「ちゃんこ鍋」「キムチ鍋」と、「おしゃれ」「特別」「リッチ」のイメージが強い「イタリアン鍋」、「美容」「健康」の機能面のイメージがある「豆乳鍋」と、同じ鍋メニューでもイメージが明確に3分された。
- 「鍋料理」(一般)についても「イメージ」を尋ねており、「寄せ鍋」は一般的な意味での「鍋料理」とほぼイメージが一致した。

鍋料理および5鍋メニューのイメージ(複数選択)

	鍋料理(一般)	寄せ鍋	ちゃんこ鍋	キムチ鍋	イタリアン鍋	豆乳鍋
だんらん	79.4%	85.0%	53.2%	27.7%	13.6%	15.8%
楽しい	70.1%	72.2%	60.8%	36.3%	24.9%	16.3%
にぎやか	56.3%	63.2%	60.5%	36.7%	15.5%	10.2%
健康	53.6%	56.2%	37.6%	35.8%	17.9%	74.8%
明るい	41.5%	60.7%	50.1%	31.4%	32.5%	13.8%
安上がり	27.6%	50.5%	17.5%	28.7%	1.8%	6.6%
手抜き料理	25.0%	48.3%	15.7%	21.1%	3.0%	6.1%
イベント	14.7%	26.2%	30.4%	29.0%	43.3%	11.3%
美容	10.4%	13.9%	7.7%	32.7%	25.6%	78.8%
冷蔵庫処理	9.9%	58.6%	26.2%	12.4%	1.2%	2.6%
騒々しい	1.3%	20.5%	38.1%	20.4%	4.5%	1.5%
特別	1.3%	5.6%	7.4%	5.1%	58.2%	25.4%
リッチ	1.2%	16.5%	14.6%	0.7%	44.1%	11.7%
貧乏臭い	0.1%	25.0%	8.0%	7.6%	0.4%	4.7%
おしゃれ	0.1%	1.3%	0.5%	1.0%	84.1%	16.2%
その他	5.0%	2.2%	1.7%	3.6%	1.5%	1.3%

イメージ上位3項目

	寄せ鍋	ちゃんこ鍋	キムチ鍋	イタリアン鍋	豆乳鍋
1	だんらん	楽しい	にぎやか	おしゃれ	美容
2	楽しい	にぎやか	楽しい	特別	健康
3	にぎやか	だんらん	健康	リッチ	特別

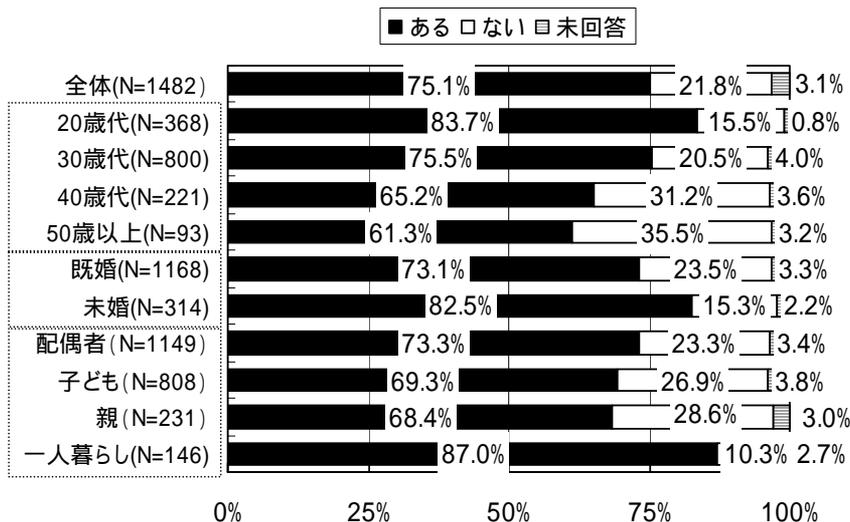
■ = 40%以上が選択した項目

現代女性の「鍋パーティ」事情

75.1%が「鍋パーティ」経験者」

- 調査対象全体の75.1%が「鍋パーティ」()の経験がある」とした。
- 年齢層別に見ると若年層になるほど経験率が高く、20歳代では83.7%と、5人中4人以上が経験している。
- 既婚・未婚別で見ると「未婚」の方が、また家族形態別で見ると「一人暮らし」の方が「鍋パーティ」経験率が高かった。

自宅・友人宅での「鍋パーティ」経験

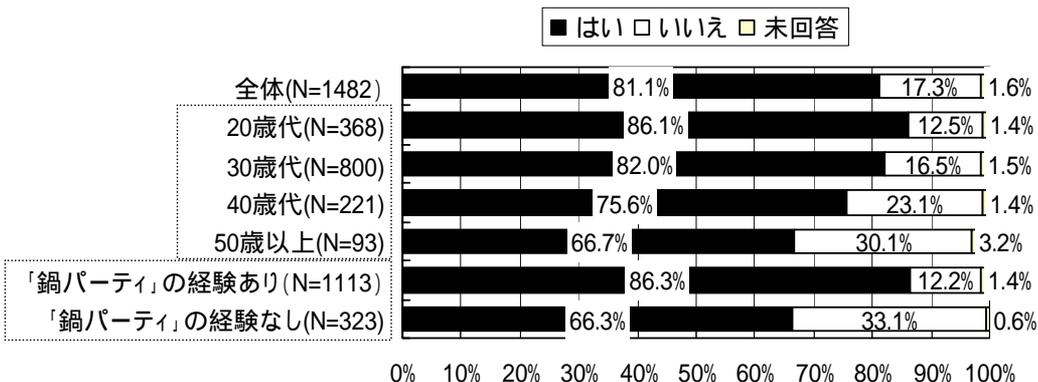


「鍋パーティ」の定義
 当調査では「鍋パーティ」を、「親族・友人等とのコミュニケーションを深めるため、自宅や友人等の家で行う、鍋を料理のメインにした集まり」としました。

20歳代女性の86.1%が「鍋パーティ」の方が盛り上がる」

- 「鍋パーティ」のイメージを尋ねる設問で、全体の81.1%が「親しい友人たちとは、レストランで食事するよりも自宅か友人の家で「鍋パーティ」をした方が盛り上がる」とした。
- 年齢層別で見ると、若年層ほど「鍋パーティ」の方が盛り上がる」とした人が多く、20歳代は86.1%だった。
- 「鍋パーティ」経験の有無でクロス集計すると、「鍋パーティ」経験者の86.3%が「鍋パーティ」の方が盛り上がる」としており、「鍋パーティ」の楽しさは経験に裏付けられている。

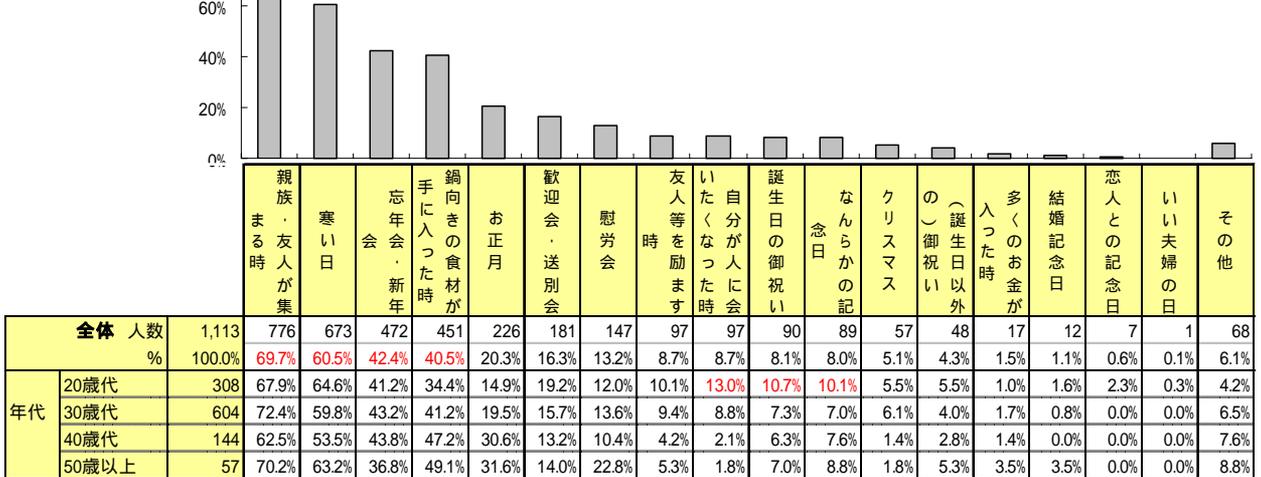
親しい友人とは「鍋パーティ」の方が盛り上がる



グルメ志向の40歳代...「鍋向きの食材が入ったら鍋パーティ」40歳代の47.2%

- 「鍋パーティ」経験者(N=1113)を対象に、「どんな時に『鍋パーティ』をするか」を尋ねたところ(複数選択)、「親族・友人が集まる時」(69.7%)、「寒い日」(60.5%)、「忘年会・新年会」(42.4%)、「鍋向きの食材が手に入った時」(40.5%)、「お正月」(20.3%)の順に多かった。
- 年齢層別に見ると「鍋向きの食材が入った時」は、40歳代:47.2%、50歳代:49.1%で、高年層の方が若年層の20歳代(34.4%)よりも10ポイント以上高い傾向があった。

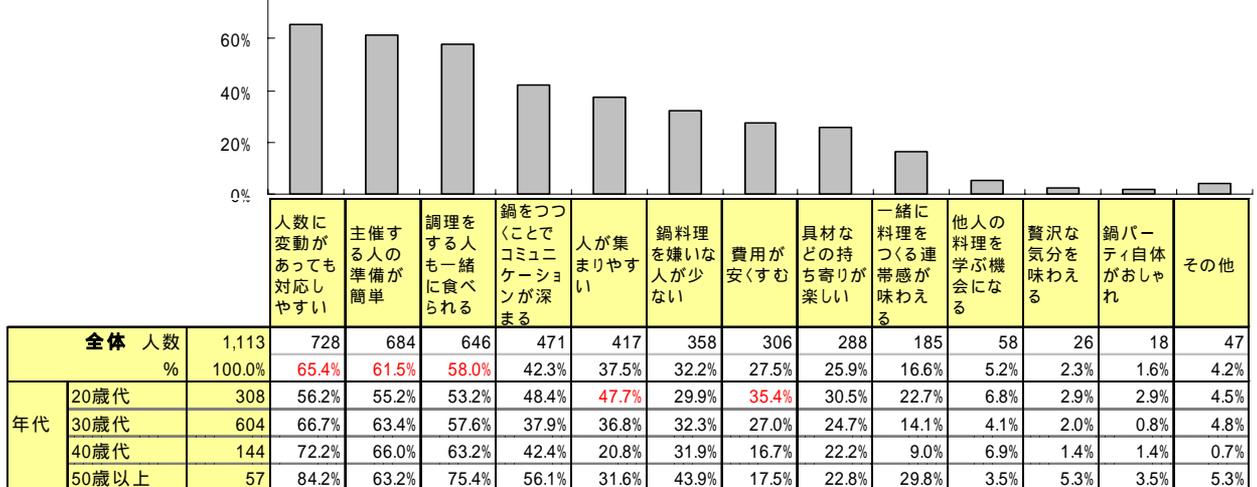
鍋パーティをする時(複数選択)



コミュニケーション志向の20歳代...「人が集まりやすいから鍋パーティ」47.7%

- 「鍋パーティ」経験者(N=1113)を対象に、「『鍋パーティ』をする理由(メインの料理を鍋にする理由)」を尋ねたところ(複数選択)、第1位は「人数に変動があっても対応しやすい」(65.4%)だった。以下、「主催する人の準備が簡単」(61.5%)、「調理をする人も一緒に食べられる」(58.0%)、「鍋をつつくことでコミュニケーションが深まる」(42.3%)の順で多かった。
- 年齢層別に見ると、他の年齢層に比べ20歳代で多く見られたのが「人が集まりやすい」(47.7%)と「費用が安くすむ」(35.4%)だった。40歳代と比べると前者は26.9ポイント、後者は18.7ポイントの開きがあった。
- 「鍋向きの食材が入ったらパーティ(上記)」という志向が40~50歳代以上に強いのにに対して、20歳代はコミュニケーションやリーズナブル感覚を求めているといえる。

鍋パーティをする理由(複数選択)

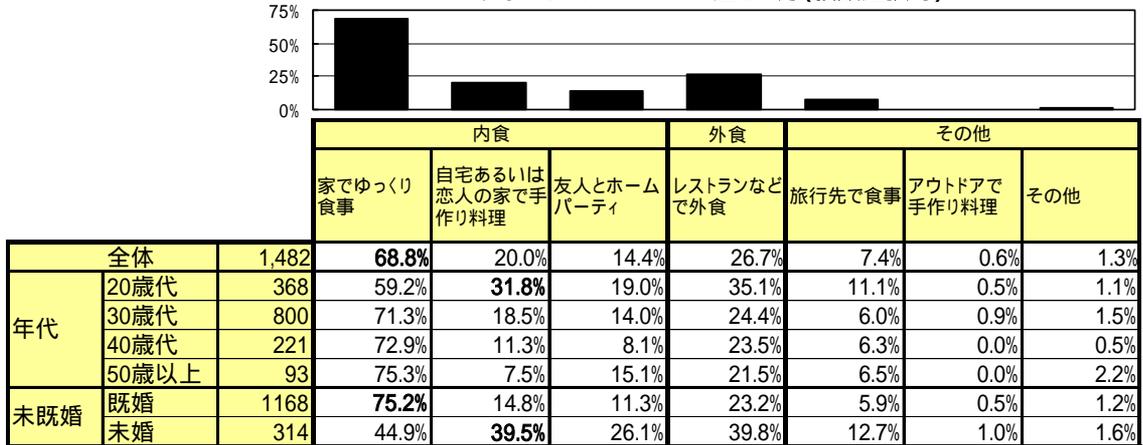


今シーズンの「鍋パーティ」予想

「クリスマスイブ」に内食志向

- 「今年の『クリスマスイブ』（12月24日（金）、前日は祝日=天皇誕生日=、翌日は土曜日）の夕食は、家族や友人、恋人とどのように過ごしたいか」を尋ねたところ（複数選択可）、全体の68.8%が「家でゆっくり食事」を選んだ。
- 既婚・未婚別で見た場合、既婚者の75.2%が「家でゆっくり食事」、未婚者の44.9%が「家でゆっくり食事」、39.5%が「自宅あるいは恋人の家で手作り料理」を選び、いずれも内食志向が強かった。
- 年齢層別で見た場合、20歳代の59.2%が「家でゆっくり食事」、31.8%が「自宅あるいは恋人の家で手作り料理」を選んだ。
- 「クリスマスイブ」については全体的に、「内食志向」が「外食志向」を大きく上回った。

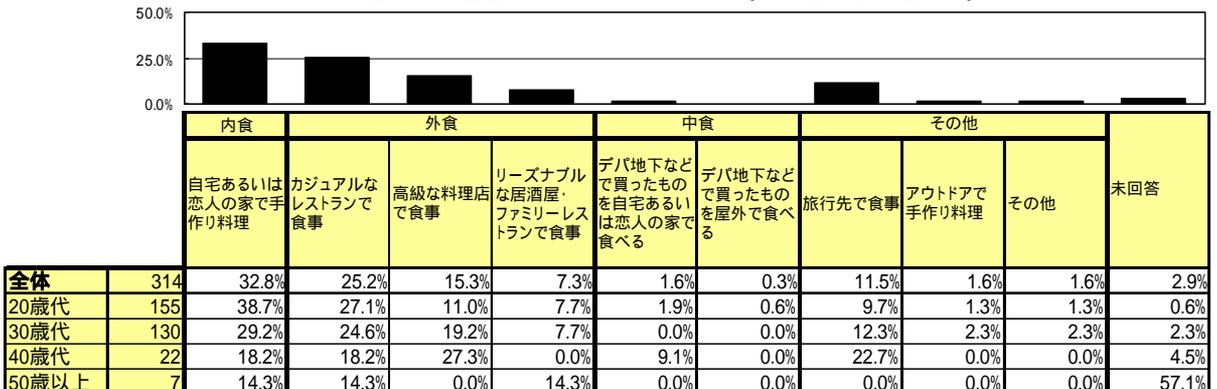
今年のクリスマスイブの過ごし方（複数選択可）



「恋人との理想の食事はどちらかの家で手作り料理」...未婚・20歳代女性の38.7%

- 未婚者(N=314)に「恋人と食事する理想のシチュエーション」を尋ねたところ（複数選択可）、32.8%が「自宅あるいは恋人の家で手作り料理」とした。「カジュアルなレストラン」（25.2%）、「高級料理店」（15.3%）、「リーズナブルな居酒屋等」（7.3%）を合計した「外食」に比べれば少ないものの、单身女性の3人に1人が「自宅あるいは恋人の家で手作り料理が理想」とした。
- 年齢層別に見ると、20歳代の38.7%が「自宅あるいは恋人の家で手作り料理が理想」と回答している。

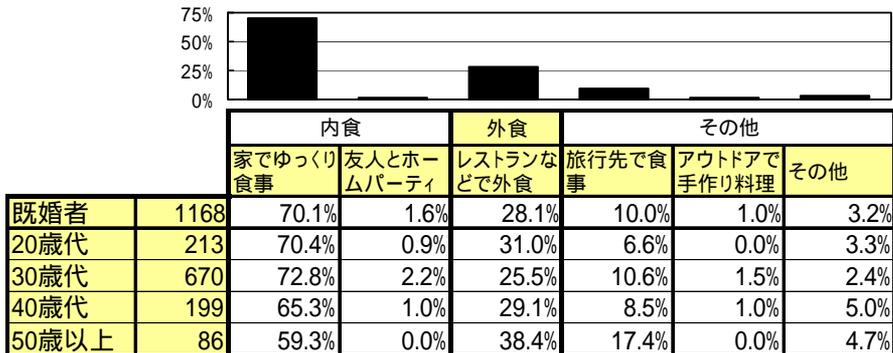
恋人との理想の食事シチュエーション（未婚者、複数選択可）



「いい夫婦の日」にも内食志向

- 既婚者(N=1168)に「今年の『いい夫婦の日』(11月22日(月)、前日は日曜日、翌日は祝日=勤労感謝の日=)の夕食は配偶者とどのように過ごしたいか」を尋ねたところ(複数選択可)、70.1%が「家でゆっくり食事」と回答した。

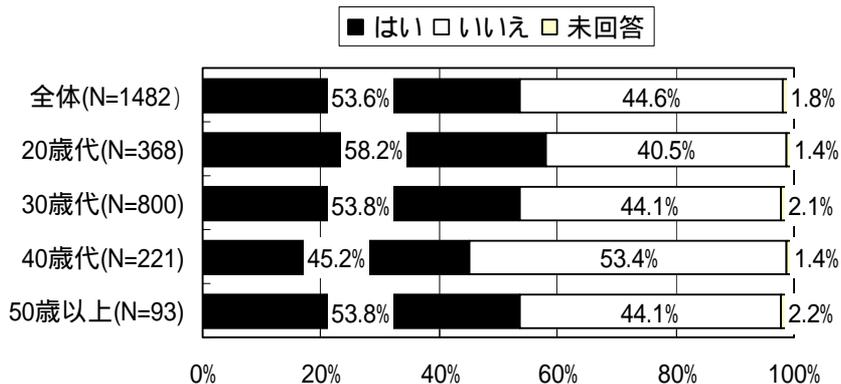
今年の「いい夫婦の日」の配偶者との夕食(複数選択可)



「特別な日にはみんなで鍋を食べたい」53.6%

- 全体の53.6%が「特別な日にはみんな(家族や友人など)で鍋を食べたい」とした。年齢層別に見ると、40歳代を除く全年齢層で過半数が「特別な日にはみんなで鍋を食べたい」としている。

特別な日にはみんなで鍋を食べたい

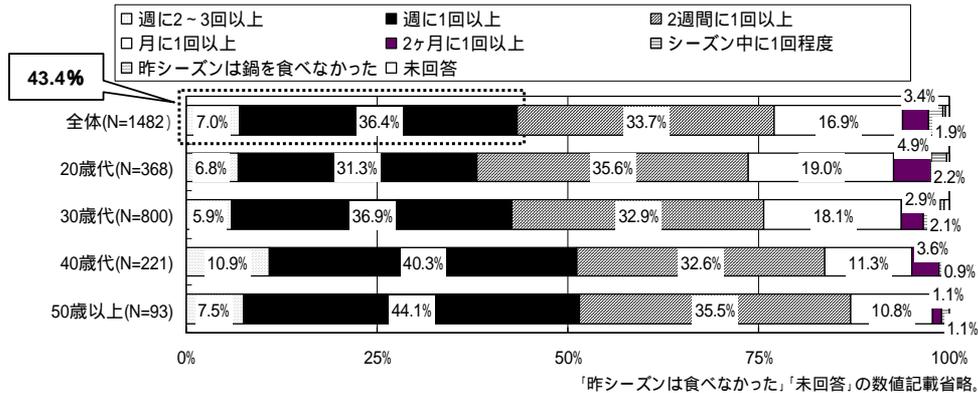


鍋料理を食べる頻度・理由・人気メニュー

半数近くが「週に1回以上鍋料理を食べた」

- 「鍋料理を、自宅・友人宅で昨シーズン(2003年10月頃～2004年3月頃の期間)にどの程度の頻度で食べたか」を尋ねたところ、半数近い43.4%が「週に1回以上の頻度で鍋料理を食べた」(下記グラフ「週に2～3回以上」と「週に1回以上」の合計)とした。
- 年齢層別に見ると、高年齢ほど鍋料理を食べる頻度が上がる傾向があった。「週に1回以上鍋料理を食べた」人は20歳代の38.1%に対し、40歳代は51.2%、50歳代は51.6%と、10ポイント以上の差があった。

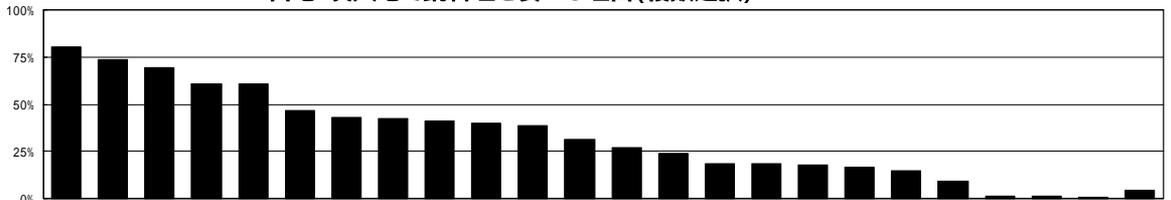
昨シーズンに自宅・友人宅で鍋料理を食べた頻度



鍋料理を食べる理由は、「栄養・美味・温・楽」

- 「自宅・友人宅等で鍋料理を食べる理由」を尋ねたところ、栄養関連の「野菜を多く食べられる」(80.6%)や「健康にいい」(38.9%)、おいしさ関連の「おいしい」(73.5%)や温かさ関連の「心身ともに温まる」(60.8%)、料理がラクさ関連の「鍋だけでメニューになる」(69.2%)や「調理時間が短い」(46.8%)、コミュニケーション関連の「みんなで一緒に食事ができる」(60.7%)や「食卓がにぎやかになる」(43.0%)などが多かった。「冷蔵庫の残り物を処理できる」(26.9%)や「材料費が安い」(18.2%)といった経済的な理由は比較的少なかった。
- 既婚・未婚別や家族形態別で見ると、既婚女性(N=1168)と「子どもがいる」人(N=808)で「調理時間が短い」を理由とした人が半数前後いるのが目立つ。

自宅・友人宅で鍋料理を食べる理由(複数選択)



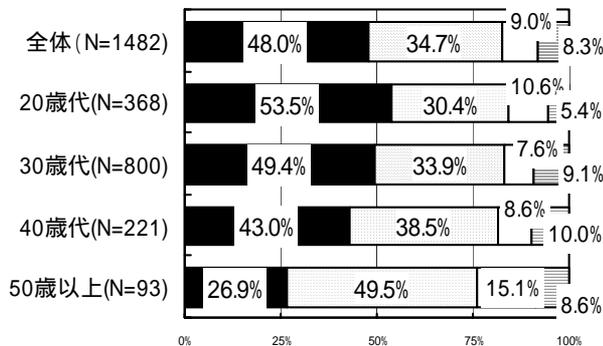
	人数	割合	野菜を多く食べられる	おいしい	鍋だけでメニューになる	心身ともに温まる	みんなで一緒に食事が出る	調理時間が短い	食卓がにぎやかになる	鍋の後に雑炊や蒸込みが出来る	レンジにこだわらなくていい	各自が好きな分量を食べられる	健康にいい	どんな材料でも美味しく出来る	冷蔵庫の残り物を処理できる	みんなが満腹できる	材料費が安い	会話が盛り上がる	味が自由にできる	色々な鍋料理がある	鍋料理を知らない人が少ない	一緒に食べる人との関係が深くなる	取り寄せた自費の食材を食べさせたい	一緒に食べる人の性格や入居期間が分かる	みんなで集めて仕切りたい(鍋奉行をしたい)	その他
全体	1,482	100.0%	80.6%	73.5%	69.2%	60.8%	60.7%	46.8%	43.0%	26.9%	18.2%	18.2%	38.9%	31.1%	26.9%	24.2%	18.2%	17.9%	15.8%	16.3%	14.9%	11.1%	0.8%	2.2%	0.8%	3.5%
年代																										
20歳代	368	78.8%	75.3%	66.6%	62.2%	61.7%	41.3%	48.6%	41.3%	44.8%	32.3%	37.0%	34.2%	29.6%	27.2%	23.1%	20.4%	15.8%	16.3%	14.9%	11.1%	0.8%	2.2%	0.8%	3.5%	
30歳代	800	81.8%	74.0%	70.8%	59.4%	59.5%	49.8%	41.6%	42.1%	39.6%	39.9%	37.0%	30.5%	28.1%	22.8%	18.6%	16.5%	17.4%	15.0%	15.0%	8.3%	1.3%	0.6%	0.1%	5.4%	
40歳代	221	80.5%	70.6%	67.0%	62.0%	60.6%	44.3%	36.2%	39.8%	40.3%	41.2%	44.3%	29.0%	20.8%	20.8%	12.2%	15.4%	19.0%	20.8%	10.0%	5.4%	1.8%	0.5%	0.0%	3.6%	
50歳以上	93	77.4%	68.8%	71.0%	64.5%	66.7%	49.5%	48.4%	58.1%	40.9%	63.4%	49.5%	29.0%	19.4%	32.3%	9.7%	30.1%	29.0%	23.7%	24.7%	16.1%	5.4%	6.5%	1.1%	4.3%	
未婚	1168	81.4%	73.6%	72.0%	61.1%	60.7%	49.7%	42.6%	43.4%	40.7%	40.6%	40.8%	30.4%	27.3%	23.6%	17.2%	17.0%	17.8%	17.0%	14.9%	7.9%	1.5%	1.3%	0.4%	4.5%	
既婚	314	77.4%	72.9%	58.8%	59.8%	60.5%	36.3%	44.6%	39.5%	42.7%	43.6%	41.2%	40.6%	40.5%	30.7%	23.3%	23.6%	17.8%	17.1%	15.1%	7.7%	1.4%	1.1%	0.4%	4.6%	
配偶者	1149	81.3%	74.0%	72.1%	60.9%	61.1%	49.7%	42.7%	43.6%	41.2%	40.6%	40.5%	30.7%	27.3%	23.6%	17.5%	16.8%	17.8%	17.1%	15.1%	7.7%	1.4%	1.1%	0.4%	4.6%	
子ども	808	79.7%	72.5%	72.2%	60.4%	63.5%	50.1%	42.1%	41.6%	39.9%	42.6%	38.5%	30.1%	26.1%	23.6%	15.7%	16.5%	17.1%	16.5%	15.2%	7.7%	1.2%	1.0%	0.4%	4.5%	
親	231	80.5%	72.7%	66.7%	64.5%	58.4%	39.8%	45.0%	40.3%	38.1%	41.6%	39.8%	30.7%	29.4%	27.3%	19.5%	22.5%	19.9%	17.7%	13.0%	10.8%	1.3%	2.2%	0.0%	5.2%	
その他	65	87.7%	75.4%	61.5%	64.6%	67.7%	36.9%	52.3%	46.2%	44.6%	32.3%	29.2%	30.8%	27.7%	15.4%	29.2%	29.2%	24.6%	16.9%	6.2%	0.0%	3.1%	0.0%	3.1%		
一人暮らし	146	74.7%	69.2%	57.5%	56.2%	62.3%	37.0%	41.1%	41.1%	43.2%	30.1%	28.8%	33.6%	20.5%	23.3%	21.9%	19.2%	17.1%	12.3%	14.4%	13.0%	2.7%	1.4%	0.0%	3.4%	

「鍋料理を食べる頻度が増えた」20歳代女性の53.5% 理由は「おいしさ・楽しさに目覚めた」

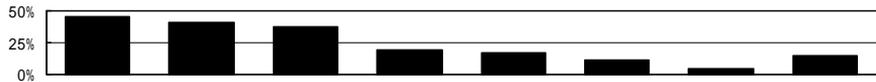
- 「5年前と比較して鍋料理を食べる頻度・回数が増えたかどうか」を尋ねたところ、全体の48.0%が「増えた」と回答。
- 年齢層別に見ると若年層ほど「増えた」とした人が多く、20歳代は53.5%と過半数だった。
- 「増えた」理由は、「家族が増えた」45.8%が最も多く、これは「既婚者」(56.7%)や「子どもがいる」人(62.4%)が牽引している。
- 20歳代で最も多い「増えた理由」は「鍋のおいしさに目覚めた」(42.1%)で、「増えた」人全体でもこの理由は2番目に多かった(41.3%)。

5年前と比較した場合の鍋料理を食べる頻度

■ 増えた □ 変わらない □ 減った ▨ 未回答



鍋料理を食べる頻度が増えた理由



		家族・親族が増えた	鍋のおいしさ・楽しさに目覚めた	鍋料理の種類が増えた	なにかと集まる機会が増えた	友人・知人を自宅に誘うことが多かった	友人・知人に誘われることが多かった	鍋パーティが流行っている	その他	
「増えた」人		712	45.8%	41.3%	37.4%	19.0%	17.3%	11.0%	5.1%	14.5%
年代	20歳代	197	37.6%	42.1%	34.5%	28.4%	22.3%	18.3%	9.1%	8.6%
	30歳代	395	54.4%	39.7%	33.9%	17.5%	18.0%	9.4%	3.5%	15.4%
	40歳代	95	32.6%	42.1%	49.5%	7.4%	7.4%	4.2%	3.2%	20.0%
	50歳以上	25	24.0%	56.0%	68.0%	12.0%	4.0%	4.0%	4.0%	24.0%
未既婚	既婚	564	56.7%	39.4%	33.5%	16.7%	16.5%	8.7%	2.7%	15.6%
	未婚	148	4.1%	48.6%	52.0%	27.7%	20.3%	19.6%	14.2%	10.1%
同居者	配偶者	556	56.7%	39.4%	33.1%	16.5%	16.5%	8.8%	2.7%	16.0%
	子ども	375	62.4%	37.1%	31.2%	15.5%	11.7%	4.5%	1.9%	16.3%
	親	114	36.0%	43.0%	52.6%	21.9%	7.9%	17.5%	8.8%	7.0%
	その他	36	11.1%	44.4%	44.4%	22.2%	11.1%	19.4%	8.3%	19.4%
	一人暮らし	68	4.4%	47.1%	45.6%	30.9%	32.4%	14.7%	13.2%	11.8%

「自宅・友人宅でよく食べる鍋」は「寄せ鍋」

- 調査対象全体に「自宅・友人宅でよく食べる鍋料理」を尋ねたところ(複数選択)、「寄せ鍋(スープに味付き)」(67.7%)、「寄せ鍋(タレで味付け)」(62.8%)、「水炊き」(59.2%)、「おでん」(56.0%)、「すき焼き」(51.0%)の順で多かった。
- 年齢層別に見ると、比較的新しい鍋メニューといえる「キムチ鍋」や「豆乳鍋」は、20歳代が他の年齢層に比べ「よく食べる」傾向があった(「キムチ鍋」59.0%、「豆乳鍋」12.5%)。また、「新しい鍋が流行るといち早く試したくなる」タイプの方は、そうでない人に比べ上記2メニューを「よく食べる」とした人が多かった(「キムチ鍋」59.3%、「豆乳鍋」15.3%)。
- 「すき焼き」「おでん」は高年齢層ほど「よく食べる」とした人が多かった。

自宅・友人宅でよく食べる鍋料理(複数選択)

			寄せ鍋 (スープに 味付き)	寄せ鍋(タレ で味付け)	水炊き	おでん	すき焼き	しゃぶしゃぶ	キムチ鍋	ちゃんこ鍋	豆乳鍋	豆乳しゃぶ しゃぶ	イタリアン鍋 (トマト鍋)	タスキ
全体			1,004	930	878	830	756	718	701	233	137	41	30	17
			67.7%	62.8%	59.2%	56.0%	51.0%	48.4%	47.3%	15.7%	9.2%	2.8%	2.0%	1.1%
年代	20歳代	368	65.8%	57.6%	57.3%	45.1%	47.0%	43.8%	59.0%	14.4%	12.5%	2.2%	1.9%	1.1%
	30歳代	800	68.6%	66.9%	60.8%	54.6%	49.3%	46.1%	44.8%	16.6%	8.1%	3.4%	2.1%	0.8%
	40歳代	221	68.8%	58.4%	54.8%	70.6%	56.6%	61.1%	39.8%	14.0%	8.6%	2.3%	2.3%	1.8%
	50歳以上	93	65.6%	58.1%	64.5%	76.3%	68.8%	57.0%	40.9%	17.2%	7.5%	1.1%	1.1%	3.2%
「新しい鍋が流行るとい ち早く試したくなる方だ」	はい	459	68.4%	65.1%	62.1%	53.2%	53.2%	52.7%	59.3%	17.0%	15.3%	5.4%	3.5%	2.2%
	いいえ	996	67.8%	62.4%	58.3%	57.8%	50.2%	46.9%	41.6%	15.4%	6.6%	1.6%	1.4%	0.7%
未回答		27	55.6%	33.3%	44.4%	37.0%	44.4%	33.3%	55.6%	7.4%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%

ご参考 今シーズン注目の「イタリアン鍋」とは

「イタリアン鍋(トマト鍋)」は、2003～04年の鍋シーズンに向けてカゴメがメニュー提案し、首都圏の著名レストランや一般家庭でスマッシュヒットを記録した新しい洋風鍋メニューです。イタリアの地中海沿岸地方の伝統的料理「ズッパ・ディ・ペッシェ(魚介のスープ)」を日本独特の“囲み食”である鍋メニューにアレンジしたもので、トマトのスープで新鮮な魚介や野菜などの食材を煮込んで取り分けて食べ、最後に魚介のうまみが溶け出したスープでご飯やパスタを楽しんでいただけます。魚介の“うまみ”とトマト由来の“うまみ”成分の組み合わせは、日本人の嗜好にぴったりです。当調査の結果から、現代女性の内食志向の高まり(7,8ページ参照)が伺え、20歳代女性を中心に「特別な日」に自宅や友人宅で「鍋パーティ」を催す傾向が強まっています(8ページ参照)。「おしゃれ」「特別」「リッチ」のイメージが強い「イタリアン鍋」(4ページ参照)は、「ハレの日」「特別な日」に、家族や友人と楽しむ鍋メニューの決定版といえ、2004～05年シーズンには全国区の人気を博するものと期待しています。なおカゴメでは、2004～05年シーズンに向け、家庭向けの専用調味料「海鮮イタリアン鍋(鍋用スープ)」を、今年8月より全国で販売しています。



「海鮮イタリアン鍋(鍋用スープ)」

500g パウチ

参考小売価格(消費税別)：350円

商品特長

- 簡単に、ごちそう感あふれる華やかメニューが完成
- ひと鍋でトマト4個分を手軽に摂取できる
- 最後はリゾットで2度楽しめる
- 完熟トマトに、炒めた玉ねぎ、にんにくを使用したベーシックなトマトソースをベースに、フュメドポワソン(魚介の煮出し汁)とカニなどのエキスをプラス
- 3～4人分用の2倍濃縮タイプ
- 化学調味料無添加

ご参考 「イタリアン鍋」レシピ例

【基本の「海鮮イタリアン鍋」】

材料(3~4人分)

はまぐり 8個(またはあさり300g)
えび(殻つき) 中8尾
甘塩たら 2切れ(200g)
生鮭 2切れ(200g)
長ねぎ 1本
キャベツ 1/4個(300g)

「カゴメ基本のトマトソース」(295g)1缶
白ワイン 1/4カップ
水 4カップ
塩・こしょう 各少々
または
「カゴメ海鮮イタリアン鍋(鍋用スープ)」
水 2カップ半 _____



作り方

たら、鮭、長ねぎ、キャベツは一口大に切る。
鍋に「カゴメ基本のトマトソース」、白ワイン、水、塩・こしょう、
または「カゴメ海鮮イタリアン鍋(鍋用スープ)」、水を入れて沸騰させる。
火の通りにくい魚介類から鍋に入れ、野菜を加えて煮込む。

ポイント

- ・食材はお好みでセレクトしてください。カニやムール貝はにぎやかな鍋を演出します。
- ・残ったスープにご飯を加えればリゾット、パスタを加えればスープパスタが楽しめます。